

# 感染症発生状況

令和元年10月17日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年10月7日（火）～10月11日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】450名 【職員】15名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】90名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数73名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：**熱（236名）**、咳・鼻水（83名）、嘔気・嘔吐（7名）、下痢・腹痛（5名）

疾病別：**気管支炎・肺炎（30名）**、インフルエンザ（12名）、溶連菌感染症（12名）、胃腸炎（6名）

【職員】症状：熱（5名）、頭痛（1名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：インフルエンザ（4名）、溶連菌感染症（3名）

**冬型感染症の時期となりました。インフルエンザ、RSウイルス感染症、ヒトメタウイルス感染症、そして溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症の流行です。ヘルパンギーナなど夏型もわずかながらあることに注意が必要です。**

## 【症状別の発生状況】

**気管支炎・肺炎** 玉山、河北、河南地域で減少しました。

インフルエンザ 厨川地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、河北地域で減少。厨川、河南、都南地域で増加しました。

胃腸炎 河南地域で減少。厨川地域で増加しました。

## 【県の状況（9/30～10/6）】

インフルエンザは前週より増加し、盛岡市では流行入りの目安とされる定点当たり患者数1人を超えました。県全体でも、例年より早期に流行入りすることも考えられるので、早めのワクチン接種が勧められます。症状がある場合は、周囲へ感染を広げないようにマスクを着用し、早めの受診を。

感染性胃腸炎は前週より増加し、釜石と大船渡地区で報告が多くなっています。集団生活を営む施設では、手洗いの徹底と感染防止対策の再確認が必要です。

水痘（みずぼうそう）は前週より増加し、盛岡市で警報値（定点当たり患者数2人）を超えました。水痘ワクチンは、平成26年10月から定期接種となっているので、受け忘れがないか接種歴を確認してください。

手足口病は、宮古地区で警報値（同5人）を超えました。原因となるウイルスは複数あるので、数回かかることがあります。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いを励行することが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】